



謎の深山みやま焼

暮らしの十王じゅうおう焼

江戸から昭和の焼物



2012年3月1日(木) - 4月8日(日)

休館日/月曜日 開館時間/午前9時 - 午後5時 (4月は午後7時まで)
観覧料/一般 200円 高校生以下 無料

同時開催 | 梅津五郎通常展 [6]

白鷹町文化交流センター あゆむ **AYU:M**

〒992-0771 山形県西置賜郡白鷹町鮎貝仮換地24街区1番
shirataka@ayu-m.jp <http://www.ayu-m.jp/>

問合せ **0238-85-9071**

主催/白鷹町文化交流センター 後援/白鷹町教育委員会、白鷹町史談会
企画協力/高橋拓

miyama ware

謎の深山焼

暮らしの十王焼

江戸から昭和の焼物

白鷹町でかつて作られていた深山焼と十王焼。

深山焼は江戸時代後期に生産された焼物で、置賜地方ではほとんど作られていない、装飾の強い皿・碗・土瓶を生産していた特殊な窯です。なぜか短期間で窯を閉じたために遺された完品はなく、発掘調査で出土した陶片があるのみです。現在はこれらの陶片のイメージを元に復興がなされ、新たな作品が生まれています。

一方、十王焼は江戸時代後期から昭和27年まで日用雑器中心に作られたもので、以前は「瀬戸山」と呼ばれていました。すり鉢、甕、切立甕などが作られ、すり鉢はその品質の高さからことのほか有名です。鉄釉の肌合いは、本来実用のための焼物でありながら多くの人々を魅了してきました。

本展では、謎に包まれた深山焼と暮らしの中に息づいていた十王焼を対比しながらご紹介いたします。

表面左上 深山焼 蟹沢遺跡出土 小皿陶片
江戸時代後期 白鷹町教育委員会

表面右下 十王焼 搦鉢
明治～昭和時代 個人蔵

① 深山焼 蟹沢遺跡出土 碗陶片
江戸時代後期 白鷹町教育委員会

② 深山焼 蟹沢遺跡出土 獅子頭部陶片
江戸時代後期 白鷹町教育委員会

③ 十王焼 瀬戸山窯跡出土 小皿陶片
明治時代 白鷹町教育委員会

④ 十王焼 柴田文五郎作 仏花器
明治27年 菖蒲薬師堂

⑤ 十王焼 伝菅原白龍絵付 杯
明治時代 白鷹町教育委員会

⑥ 十王焼 すず徳利
明治～昭和時代 個人蔵



juo ware

関連イベント

■ 講演会「深山焼と十王焼について」

日時: 3月18日(日) 14:00～15:30

講師: 高橋拓 (東洋陶磁学会会員)

料金: 無料。ただし当日の観覧券が必要。

申込: 不要

同時開催

■ 梅津五郎通常展 [6]

観覧料: 200円 ※「謎の深山焼 暮らしの十王焼」と共通

梅津五郎: 白鷹町出身の洋画家。

東光会理事長、日展参与を歴任。

■ 陶芸ワークショップ

「十王焼風のミニすり鉢を作ろう！」

日時: 3月24日(土) 14:00～15:30

講師: 金田利之 (深山工房つち団子)

参加料: 800円

対象: 小学生以上

十王焼の代名詞ともいえるすり鉢。その雰囲気に似た小型版(直径12cm程度)を作ります。実際にゴマをすったりするのに使えます。

白鷹町文化交流センター
AYu:M (あゆーむ)



〒992-0771 山形県西置賜郡白鷹町鮎貝仮換地24街区1番

■ お車で越越しの場合 / 山形市より国道348号線で約35分

■ 電車でお越しの場合 / 赤湯駅より山形鉄道フラワー長井線

(荒砥行き)で「四季の郷駅」下車(赤湯駅から約50分)徒歩約4分

shirataka@ayu-m.jp TEL 0238-85-9071

http://www.ayu-m.jp/